

## 1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「自主」「協働」「責任」をもとにした学校づくりビジョン「豊かな心と健やかな体で、主体的に学び合う子どもの育成」の達成に向けて、家庭・地域との協働と教職員の資質能力の向上を周知して取組を進めます。

そのために、「声を出す」「汗を出す」「知恵を出す」を合言葉に次の3点を重点項目として取り組みます。

- ①地域の皆さんから学び、学習意欲の向上と実生活に役立つ取組
- ②子どもたちの安全・安心を守るため、学習環境の整備や防犯・防災の取組
- ③学校・地域が協働した取組

## 2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

### (1) 教育活動の実践事例

#### ①獅子舞

3年生は、総合的な学習の時間に、立阪神社獅子保存会の方をゲストティーチャーとして招き、伝統芸能として地域に伝わっている「獅子舞」について学びました。体育館での披露の後、学年で詳しく話を聴き、質問をしたり獅子頭を見せてもらったりしました。



#### ②クラブ活動（茶道クラブ・大正琴クラブ・EMクラブ）



クラブ活動では、「茶道クラブ・大正琴クラブ・EMクラブ」で支援を受けました。子どもたちは、それぞれのクラブにおいて専門的な指導を受け、興味を持って意欲的に活動しました。「茶道クラブ」はお点前を提供したり、「大正琴クラブ」は児童集会の場で演奏を発表したり、「EMクラブ」は近くの池の浄化活動に取り組んだりしました。

#### ③スクールサポーター

保護者をはじめとする地域の方々20名の方にスクールサポーターとして登録をしていただき、学校に協力できる分野で活動をしていただきました。家庭科や生活科における「調理実習」では、子どもたちの安全を見守りながら、作業の手順や片づけ等を教諭と連携を図りながら支援していました。困った時にはすぐに尋ねることが



でき、子どもたちは安心して活動に取り組んでいました。また、4年生では、体育科として「着衣水泳」を支援していただきました。ペットボトルを用いての体の浮かせ方を実技を交えて教えていただきました。

#### ④出前じんけん講座

1年生の子どもたちに「人権」について考える機会を持つために、大谷台地区人権啓発協議会が中心となって紙芝居「しろくろぶちねこのミースケ」をしていただきました。差別・偏見について考える場となるとともに、人権に関するお話もしていただきました。

#### ⑤堀川浄化活動

P T Aが中心となり、認定N P O法人「地域環境共生ネットワーク」の協力を得て、4年生の子どもたちが校区内を流れる堀川の浄化活動に取り組みました。河川浄化に効果があるEM菌を各家庭で作し、堀川へ投入しました。社会科で学習した内容とも関連付けながら、環境学習としても取り組むことができました。

## (2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

### ①子ども見守り隊



毎日、子どもたちの登下校の様子を見守りながら、安全面での支援をしていただきました。特に、1年生の下校時刻に合わせて学校まで迎えに来たり、横断歩道などの危険個所にて安全確保をしたりするなど、子どもたちを見守っていただきました。このようにお世話になった見守り隊の方々に対しては、「6年生を送る会」に招待をして子どもたちが発表する姿を見ていただくとともに、感謝の気持ちを

込めた手紙を3年生が代表として書いて手渡しました。

### ②防災教室

大谷台地区自主防災隊の方に協力していただき、4年生が「防災訓練」と「炊き出し体験」に取り組みました。防災倉庫の見学や防災に関する学習を通して、子どもたちは防災に関する知識をより高めるとともに、救助活動や炊き出し体験を通して自分にできる防災活動についても学ぶ機会とすることができました。社会科の学習と関連して。より一層、地域の防災に関心を持つことができました。



### ③地域活動（「地区敬老祭」「地区住民の集い」）

9月の「大谷台地区敬老祝賀会」には3年生、11月の「大谷台地区住民の集い」には5年生がそれぞれ参加し、学校で学習した内容を中心に発表しました。地域の方々にはしっかりと見てもらえるように練習を重ね、本番では惜しみない拍手をおくってもらい、地域との交流の一翼を担うことができました。

上記以外にも様々な取り組みを進めることで、学校・保護者・地域住民の連携や協力が深まることになりました。

### 3 今後に向けて

このように地域協力者の温かい支援を受けて、本校の教育活動は多様に展開されています。今後も、学校が中心となりながらも、家庭・地域との連携をさらに深め、子どもたちの健全な育成を目指して、共通理解を図りながら取り組みたいと考えています。

今年度からは、四日市版コミュニティスクールが発足し、学校運営協議会による学校づくりビジョン推進に向けての一步を新たに踏み出しました。今後は、保護者・地域住民の持つ教育資源をさらに活かしていただけるように学校運営協議会の場を工夫し、ゲストティーチャーやボランティアの組織化を進めていきたいと考えています。また、「学校公開日」の設定・周知を図り、保護者や地域住民の方の来校していただく機会を増やし、アンケートによる意見集約をより活発にし、学校・地域・家庭が連携して学校運営を進めていきたいと考えています。



## 別紙B

## 平成30年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立 大谷台小学校

委員長 坂井 毅

校長 藤井 巧

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回 学校運営協議会 5月16日(水)	・四日市市教育委員会より指定書が交付され、委員委嘱状が手渡されました。校内にて授業を参観した後、学校づくりビジョンを承認しました。
6		
7	CS 運営協議会委員研修会 7月7日(土)	・委員長含む3名が出席しました。
8		
9	第2回 学校運営協議会 9月13日(木)	・学校の現状と課題についてを報告するとともに、児童の様子について懇談を行いました。また、今後の活動計画についても意見交換をして決定しました。
10	第3回 学校運営協議会 11月19日(月)	・授業参観とともに、校内作品展の鑑賞も行いました。その後、作品に関する感想を交流するとともに、児童の様子を懇談しました。給食試食会も開催しました。
11	CS 委員長会 11月7日(水)	・委員長が出席しました。
12	「地域とともにある学校づくり」推進フォーラム 12月10日(金)	・代表として、1名が出席しました。
1		
2	第4回 学校運営協議会 2月13日(水)	・児童集会を参観した後、学校アンケートの結果をもとに学校関係者評価を行いました。来年度の活動についての意見交換も行いました。
3		